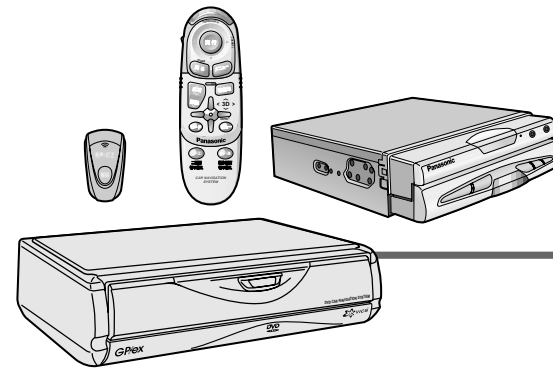


Panasonic

7型ワイドVGAインダッシュテレビ付
DVDカーナビゲーションシステム

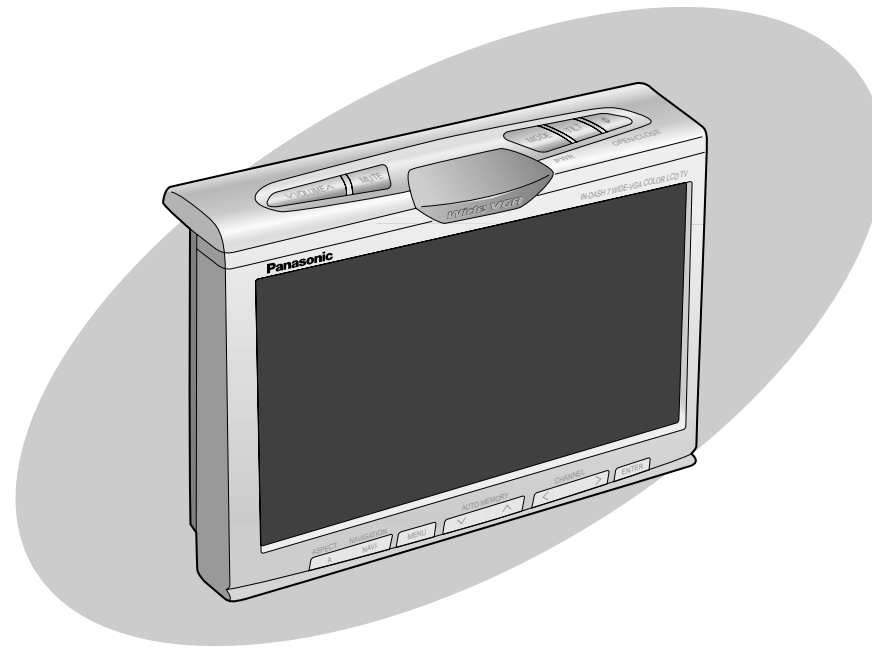
取扱説明書

(テレビ操作・取付編)



品番

CN-DV3300GSD



このたびは、パナソニック カーナビゲーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

特長

本機のRGB入力は、ワイドVGA映像専用です。
必ず、同梱のワイドVGA対応ナビゲーションシステムと接続してご使用ください。

7型ワイドVGA液晶カラーディスプレイ搭載(⇒8ページ)

高精細(従来比約4倍)のカラーディスプレイで、優れた色再現性を実現

RGB入力端子付(⇒30ページ)

ワイドVGA対応ナビゲーションをRGB原色信号で接続するため、細かい地図が明瞭に見える

1DINテレビ(⇒28ページ)

音声多重テレビチューナーを1DINサイズに内蔵
付属のテレビアンテナを接続するだけでテレビが見られる

フル電動開閉メカ(⇒10ページ)

モニター部の排出から立ち上げまでフル電動
上下の角度調整(TILT)や前後の位置調整は電動、左右の角度調整は手動で調整可能

スピーカー内蔵(⇒8ページ)

モニターの背面に内蔵された小型スピーカーで、TV・カーナビゲーションなどの音声を出力できる

セルフワイド機能(⇒16ページ)

上下に黒帯が出る普通サイズの映像や横長の映像を、自動的に拡大画面にする

オートメモリー機能(⇒13ページ)

その場で受信可能な放送局を自動的に選局できるので、見たい放送局が簡単に選べる

オートディマー(自動調光機能)内蔵(⇒18ページ)

周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整

FMステレオトランスミッター内蔵(⇒14ページ)

ステレオタイプのFMトランスミッター(送信機)を内蔵
配線の手間なく、テレビやビデオの音声を車載のFMラジオで受信して聴くことができる

ビデオ出力端子付(⇒15ページ)

後席用にもう1台のモニターが接続できる
(前席でナビゲーションの地図画面、後席でテレビやビデオを見ることができる)

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全上のご注意	4
各部のなまえ	8
モニターを立ち上げる	10
電源を入れる/切る	
モニターを立ち上げる/収納する	
モニターの角度や位置を調整する	

使う

テレビを見る	12
組み合わせる	14
カーナビゲーション	
FMラジオ(FMトランスミッター)	
車載用カメラ	
車載用ビデオ、ビデオカメラ	
後席用(2台目)のモニター	

使いこなす

便利な機能	16
画面の横縦比(アスペクト)を変える	
テレビ放送の音声を切り替える	
使いかたに合わせて設定を変える	18
画面調整	
ユーザー設定	
時計設定	

必要なときに

故障かな!?	22
お手入れのしかた	25
配線・取り付けの前に	26
配線のしかた	28
基本(付属品の接続)	
カーナビゲーション	
車載用カメラ、ビデオカメラ	
2台目のモニター	
車載用カメラ	
テレビを取り付ける	34
テレビアンテナを取り付ける	36
仕様	38
アフターサービスについて	39

ご使用前に

使いかた



必要なときに

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し、操作してください。

運転や視界の妨げになる位置に
取り付けない



禁止

前方・後方の視界やエアバック等安全装置の妨げになる位置、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

取り付け・アース配線等に、保安
部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

注意

取り付け・配線は、専門技術者に
依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に
依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

配線作業中はバッテリーの⊖端子
を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

可動部に手・指を入れない



禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

⚠ 注意

アンテナは、落下しないようにしっかり取り付ける



ねじがゆるんでいたたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける



アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり、破損ないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(+と-)の向きを確かめて、指示どおり正しく入れる。指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。使いきった電池は、すぐに交換する。リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻きつけたリピニール袋などに入れて絶縁する。充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

使用上のお願い

モニターに衝撃を与えないでください。

低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度：0 ~ 40)

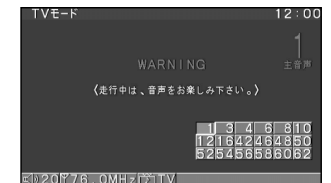
液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。特殊加工がされているので、画面に触れると指紋が目立ちます。

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が発生することがあります。位置や向きを調整し、本機から離してください。

液晶ディスプレイを押したりしないでください。

走行中は、テレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。

安全な場所に停車し、サイドブレーキをかけてご覧ください。後席用(2台目)のモニターには、映像が表示されます。(☞15ページ)



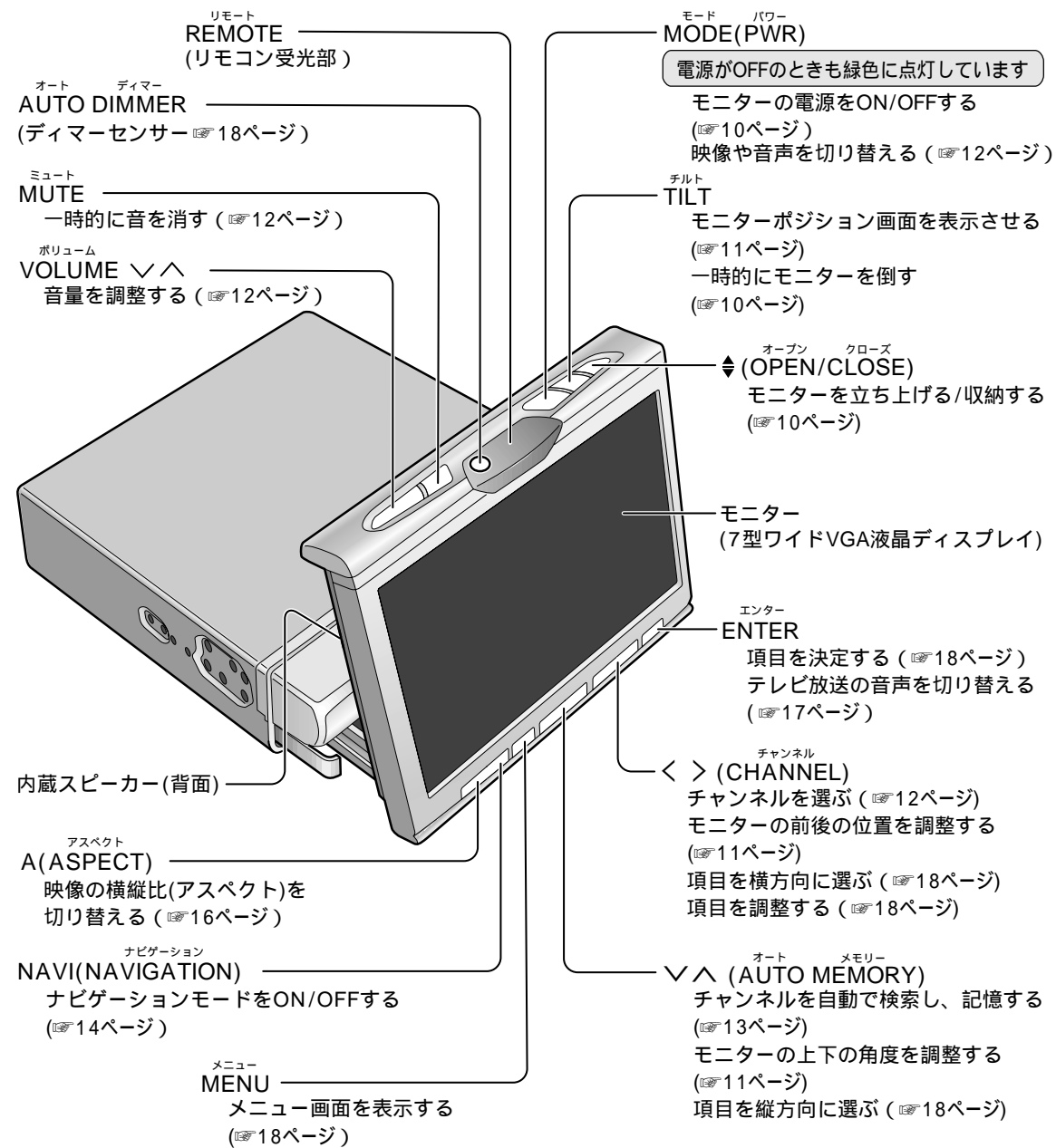
この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(☞8~9ページ)も併せてご覧ください。

各部のなまえ

テレビ本体

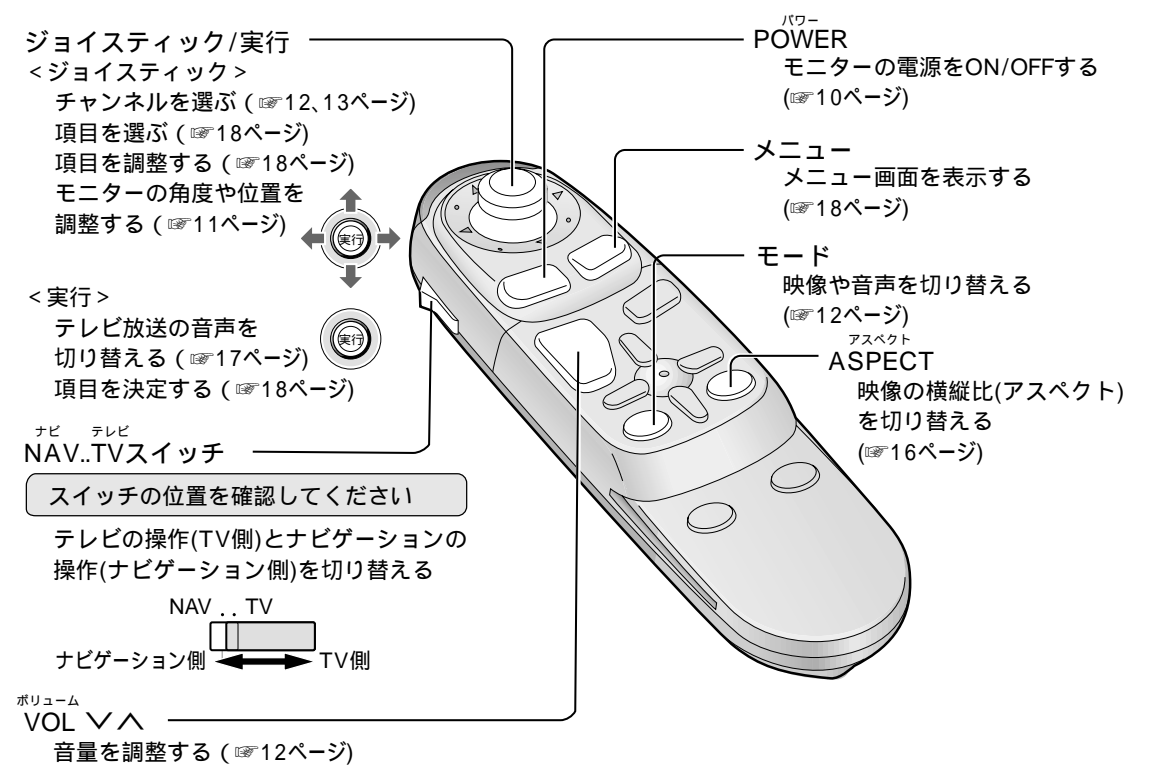


お願い

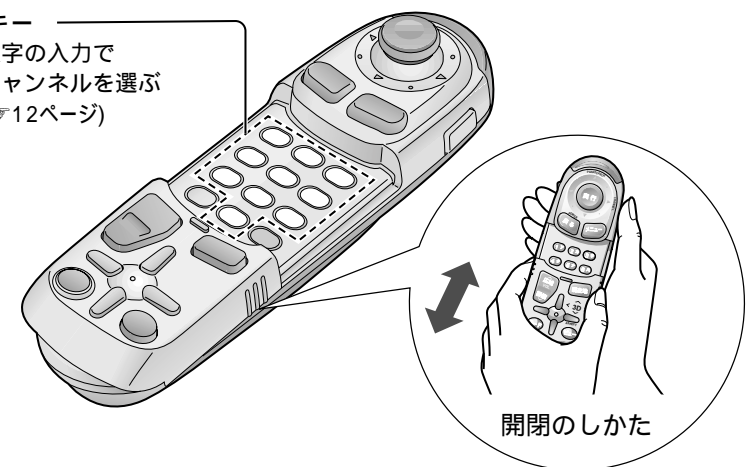
液晶ディスプレイを押したりしないでください。

リモコン

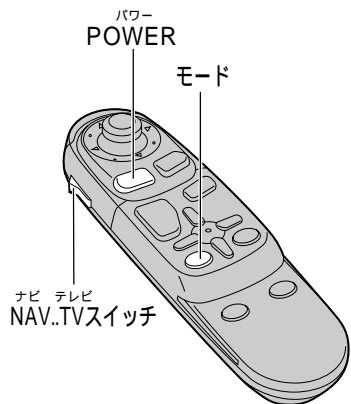
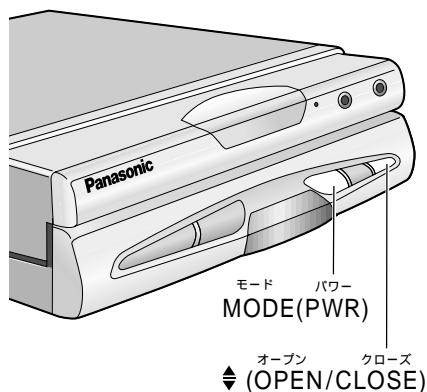
リモート
テレビ本体の REMOTE(リモコン受光部)へ向けて、操作してください。



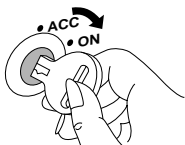
10キー
数字の入力で
チャンネルを選ぶ
(12ページ)



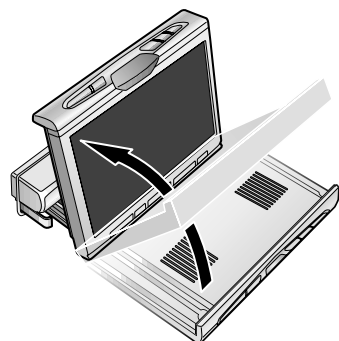
モニターを立ち上げる



1 車のエンジンをかける (「ACC」の位置でも可)



2 テレビ本体の ⇄ (OPEN/CLOSE) を押して、 モニターを立ち上げる



途中で止まったときは...
テレビ本体の ⇄ (OPEN/CLOSE) を押してモニターを
収納し、もう一度立ち上げ直してください。

3 MODE(PWR) を押して、 電源を入れる (リモコンは POWER または モード 押す)

⚠ 注意

可動部に手・指や異物を入れない
可動部やディスク挿入口に手・指を入ると、けがや故障の原因になります。
禁止 特に乳幼児にご注意ください。

お願い

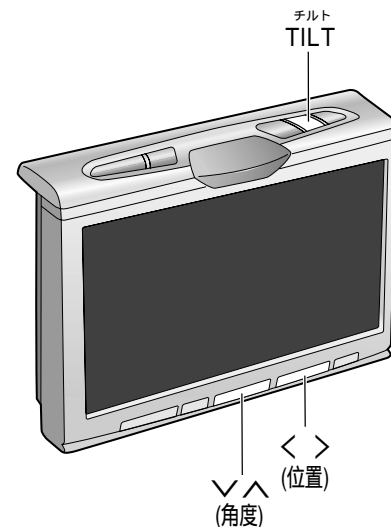
モニターを無理に動かさないでください。
モニターの上下の角度や前後の位置を調整したり・収納する前に、左右の角度を中央に戻してください。

モニターを一時的に前へ倒すには → テレビ本体の TILT 押す
(再度押すと、もとに戻る)

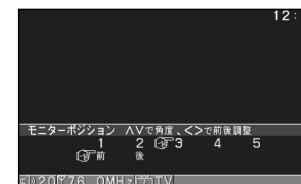
モニターを収納するには → ① モニターの左右の角度を手で中央に戻して、
② ⇄ (OPEN/CLOSE) 押す

電源を切るには → MODE(PWR) 2秒以上押す
(リモコンは POWER 押す)

モニターの角度や位置を調整する

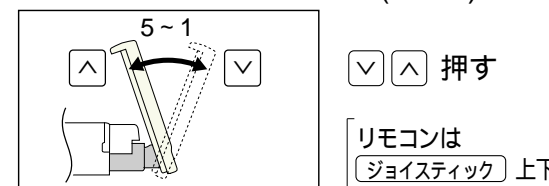


1 テレビ本体の TILT を1秒以上押し、

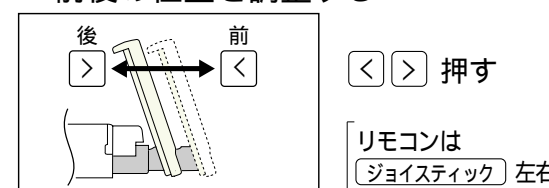


2 ∨ ∨ ∨ ∨ で調整する

上下の角度を調整する(TILT)



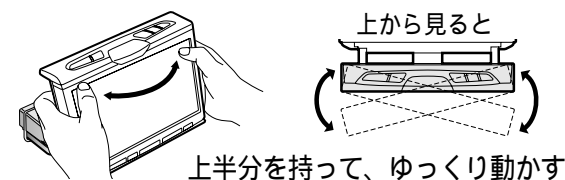
前後の位置を調整する



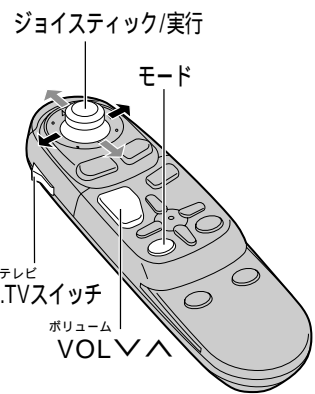
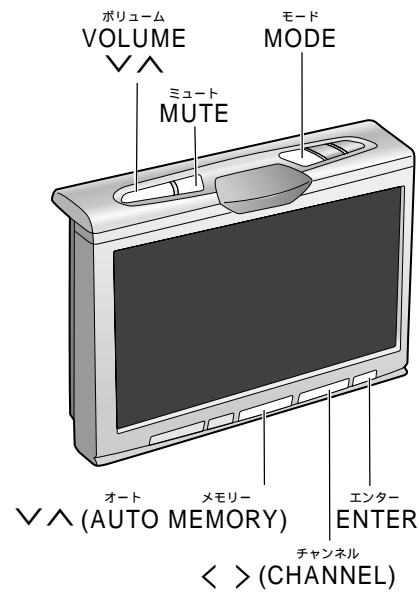
お知らせ

モニターポジションの調整は、“角度の「5」”と“「後」の位置”を、組み合わせられません。
より映像を見やすくするには、画面の「明るさ」も調整してください。(⇒18ページ)
メニュー画面からも調整できます。(⇒20ページ)

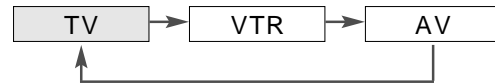
左右の角度を調整するには



テレビを見る



1 MODE を押して、TV モードにする



2 CHANNEL <> を押して、チャンネルを選ぶ



チャンネルを探るときは...
CHANNEL <> を 0.5 秒以上押す
受信すると、止まります。

3 VOLUME <> を押して、音量を調整する (内蔵スピーカー)

音量はモードごとに記憶されるので、モードを切り替えると音量も変わります。(インテリジェントボリューム)

内蔵スピーカーの音を一時的に消すには → MUTE 押す (再度押すと、解除)

チャンネルなどを確かめるには → ENTER 押して表示させる (リモコンは 実行 押す)

チャンネルを記憶させる

受信できるチャンネルを自動で探し、記憶させる (オートメモリー)

AUTO MEMORY
<> 2 秒以上押す
(リモコンは ジョイスティック 上下)

サーチ中

終了時

チャンネルを記憶された中から選ぶ

AUTO MEMORY
<> 押す
(リモコンは ジョイスティック 上下)

お知らせ
記憶されたチャンネルは、操作するたびに更新されます。
電波状況により、映らない(画質が悪い)チャンネルが記憶されることもあります。
受信できるチャンネルが見つからないときは、1周してもとのチャンネルに戻ります。

危険

運転者は走行中に操作をしない、また画像を注視しない



走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

禁止

組み合わせる

ナビゲーションの映像に切り替えるには

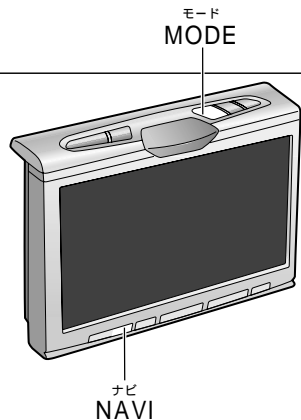
準備

カーナビゲーションを接続する。(☞30ページ)
「ナビゲーション入力」の設定を確認する。(☞20ページ)

NAVI を押して、ナビゲーションモードにする
(再度押すと、解除)



リモコンは...
NAV..TVスイッチを「NAV」側にして、**モード** を押す。

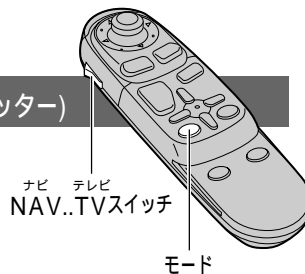


テレビなどの音声をFMラジオで聴くには(FMトランスミッター)

本機の音声を車載のFMラジオへ送信して聴くことができます。
(内蔵スピーカーは、ナビゲーション音声専用になります。)

準備

FMトランスミッターを設定する。(☞20ページ)
FMトランスミッター用アンテナが伸びていることを確認する。(☞28ページ)
FMラジオの周波数を一致させて、本機の音声を受信する。
音量は、FMラジオで調整してください。



ナビゲーションモードのときに、**MODE** を押す

本機の映像・音声(内蔵スピーカー)はナビゲーションのまま、
FMラジオへ送信する音声だけが切り替わります。



TV) VTR) AV
^ ----- ||

FMラジオへ
送信する音声

ナビゲーションモード

FMトランスミッターの設定
(☞20ページ)

お知らせ

ナビゲーションの音声は、FMトランスミッターに出力されません。
音声と映像を同じにしたいときは、ナビゲーションモードを解除してください。 # **NAVI** 押す

リモコンは
NAV..TVスイッチを「NAV」側にして
モード を押す。

FMトランスミッターについて
FMラジオ放送と混信しない周波数に設定してください。
取り付け場所によって、聴きにくいことがあります。
(実用到達距離は、約3mです)

車載用カメラの映像に切り替えるには

準備

車載用カメラとリバーコードを接続する。(☞33ページ)
「カメラ入力」の設定を確認する。(☞20ページ)

接続が
VTR 入力

車のシフトレバーを
バック “R (リバース)” に入れる

接続が
AV 入力

お知らせ

モニターの電源がOFFのときにも表示されます。

「VTR」または「AV」にモードに切り替えたときも、表示されます。
MODE 押す

車載用ビデオやビデオカメラを見るには

準備

車載用ビデオやビデオカメラを接続する。(☞32ページ)

接続が
VTR 入力

MODE を押して、VTRモードにする

接続が
AV 入力

MODE を押して、AVモードにする

お知らせ

ナビゲーション以外の映像を見る
ときは、ナビゲーションモードを
解除してください。
NAVI 押す

リモコンは
NAV..TVスイッチを「NAV」側にして
モード を押す。

後席用(2台目)のモニターでテレビやビデオを見るには

前席(本機)と同じモードの映像・音声が出力されます。
ナビゲーションモードのときは、後席のモードだけをテレビやビデオに切り替えることができます。

準備

もう1台モニターを接続する。(☞32ページ)

ナビゲーションモードのときに、**MODE** を押す

前席(本機)の映像・音声(内蔵スピーカー)はナビゲーションのまま、
後席(2台目)のモニターの映像・音声だけが切り替わります。

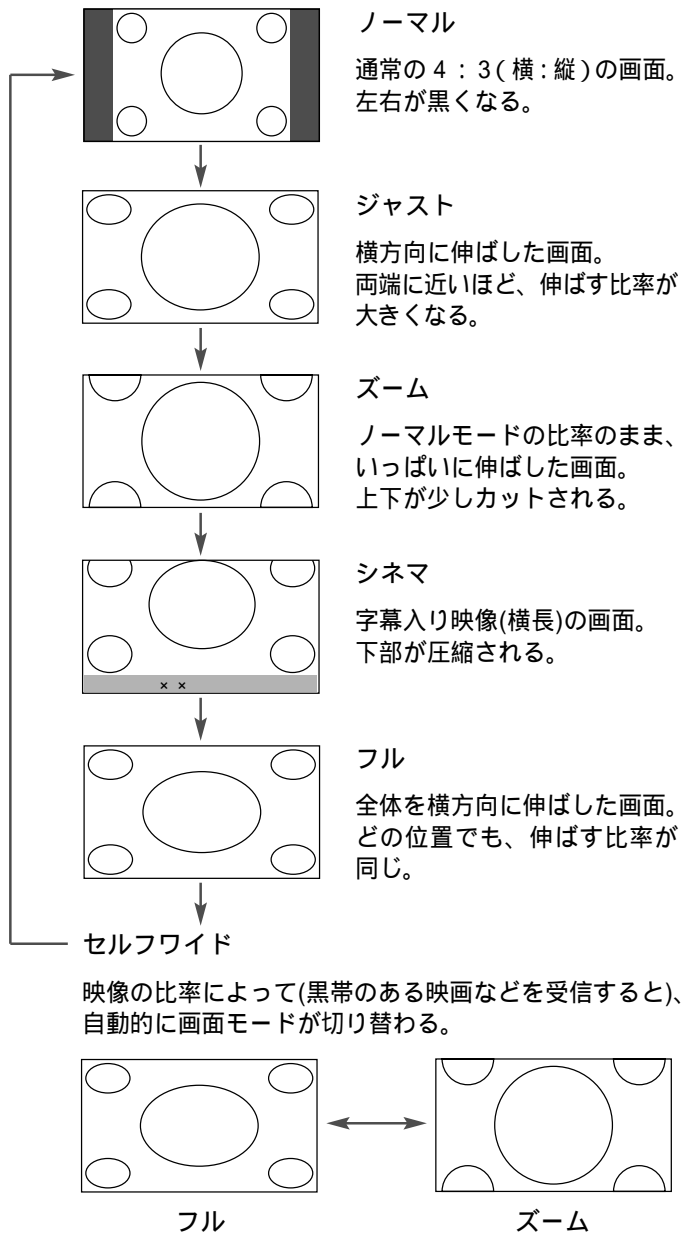
お知らせ

ナビゲーション(RGB接続)の映像は、出力されません。

便利な機能

映像の横縦比(アスペクト)を変える

ASPECT を押して、画面モードを切り替える



お知らせ

各モード(TV/VTR/AV)とも、
同じ設定になります。
ナビゲーションの映像は、ノ-
ーマル・フルのみになります。
カメラの映像は、フルのみにな
ります。
選びかたによっては、オリジ
ナル映像と異なって見える場合
があります。

セルフワイドのときは

画面全体が暗い映像の場合やテレビ
放送の電波状況がよくない場合な
どに、自動切替が適切に行われな
いことがあります。

最適な画面モードに切り替えて
ご覧ください。

テレビ放送の音声を切り替える

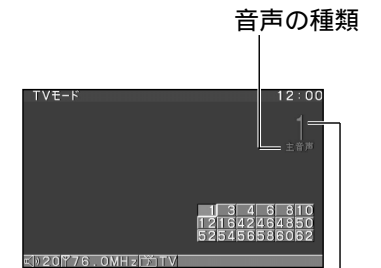
- 1 ENTER を押す
(リモコンの場合は 実行 を押す)
- 2 チャンネルの表示中(約 4 秒間)に
再度 ENTER を押して切り替える

ステレオ放送の場合

ステレオ ↔ モノラル

2 カ国語(二重)放送の場合

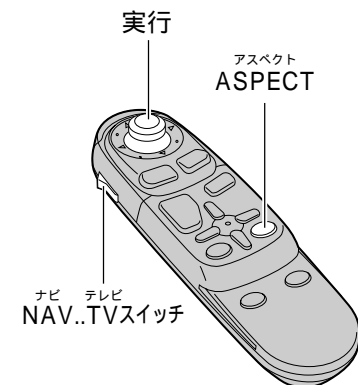
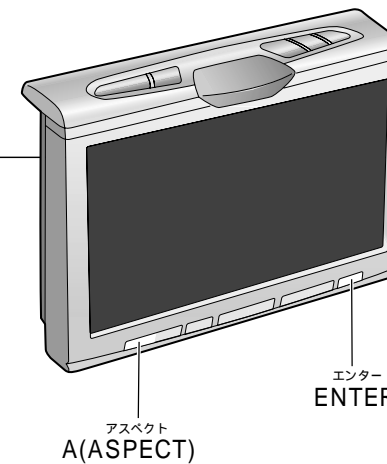
主音声 → 副音声 → 主/副音声



チャンネル番号の色で
放送の種類を示します。
緑: モノラル放送
黄: ステレオ放送
赤: 2カ国語(二重)放送

お知らせ

モノラル放送の場合は、音声の種類
が表示されません。



お願い

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドでない通常(4 : 3)の映像をジャスト・ズーム・シネマ・フルなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

使いかたに合わせて設定を変える

1 メニュー画面から



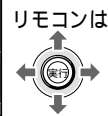
MENU を押す

2 項目を選び



- ① < > と ↓ ↑ で項目を選び
- ② ENTER を押す

3 設定する



- ① < > と ↓ ↑ で選択・調整し
- ② ENTER を押す

お知らせ

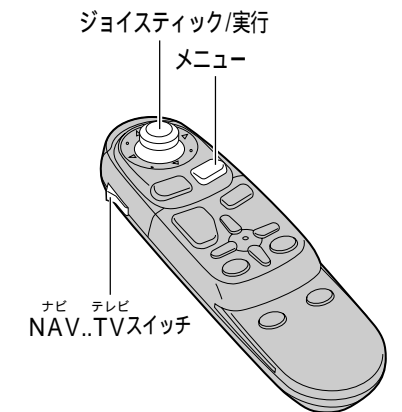
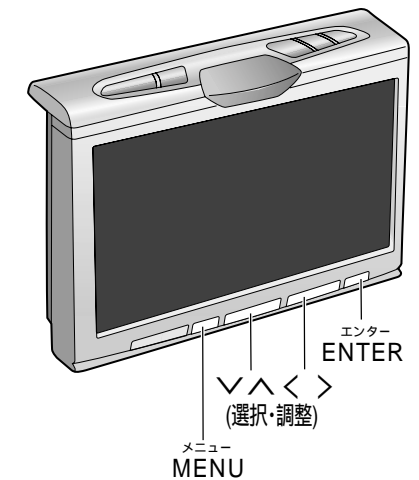
操作を途中でやめるには

MODE を押す

調整画面のとき、約 10 秒間操作しないと
もとの画面に戻ります

テレビとナビゲーションのメニュー画面
を同時に表示させた場合は、リモコンの
NAV..TV スイッチを切り替えれば、ど
ちらも操作できます。

画面調整	画面(バックライト)の明るさを設定する (出荷時は「自動」)	ディマー設定 を選び	自動 : 周囲の明るさに合わせて自動調光される 1 2 3 4 : 暗い(1) ~ 明るい(4)
	めりはり(白黒の差)を調整する (出荷時は「±0」)	画面調整 から	コントラストを調整する 「+」: 白黒の差がはっきりする 「-」: 白黒の差が小さくなる
	画像の明るさを調整する (出荷時は「±0」)		明るさを調整する 「+」: 明るくなる 「-」: 暗くなる
	色の濃淡を調整する (出荷時は「±0」)		色の濃さを調整する 「+」: 濃くなる 「-」: 薄くなる
	肌色をきれいに調整する (出荷時は「±0」)		色あいを調整する 「+」: 緑色が濃くなる 「-」: 赤色が濃くなる
		画質調整 を選び	調整範囲 - 15 ~ + 15



使いかた

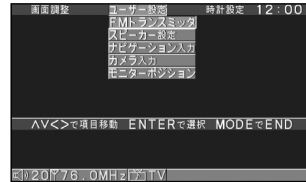
使いかたに合わせて設定を変える

1 メニュー画面から



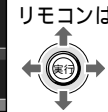
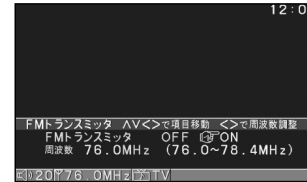
MENU を押す

2 項目を選び



- ① < > と ↓ ↑ で項目を選び
- ② ENTER を押す

3 設定する



- ① < > と ↓ ↑ で選択・調整し
- ② ENTER を押す

お知らせ

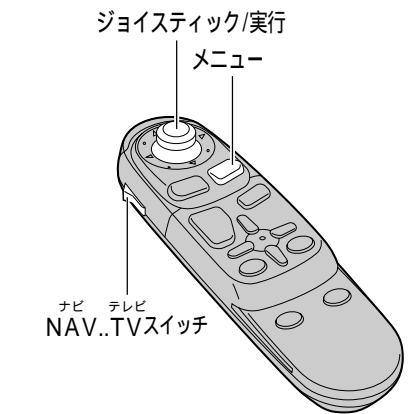
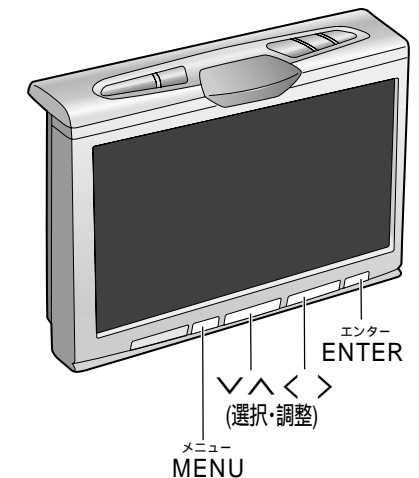
操作を途中でやめるには

MODE を押す

調整画面のとき、約 10 秒間操作しないと
もとの画面に戻ります

テレビとナビゲーションのメニュー画面
を同時に表示させた場合は、リモコンの
NAV..TVスイッチを切り替えれば、ど
ちらも操作できます。

ユーザー設定	FM ラジオへ送信する周波数を設定する (出荷時は「ON」で「76.0 MHz」)	FMトランスミッタ を選び	ON : FM ラジオへ電波を送信する # 周波数を調整する (76.0 MHz ~ 78.4 MHz) OFF : FM ラジオへ電波を送信しない
	内蔵スピーカーの音声を設定する (出荷時は「自動」)	スピーカー設定 を選び	OFF : 音声を出力しない 自動 : モニターに出力されている映像の音声を出力する カーナビ固定 : 常にカーナビの音声を出力する
	ナビゲーションの接続を設定する (出荷時は「RGB」)	ユーザー設定 から ナビゲーション入力 を選び	RGB : RGB 接続、または未接続 VTR : VTR 入力に接続 AV : AV 入力に接続
	車載用カメラの接続を設定する (出荷時は「OFF」)	カメラ入力 を選び	OFF : 未接続 VTR : VTR 入力に接続 AV : AV 入力に接続
	モニターの角度や位置を設定する (出荷時の角度は「3」、位置は「前」)	モニターポジション を選び	上下の角度(TILT)や前後の位置を調整する (⇒11 ページ)
時計設定	時計を表示する/しないを選ぶ (出荷時は「表示 OFF」)	表示 ON(OFF) を選ぶ 時計を表示します。 (OFF : 表示しない)	_____
	時計を調整する (未調整のときは、0:00 と点滅表示)	時刻調整 を選ぶ	時/分を調整する(24 時間表示)
	0 秒にする	秒リセット を選ぶ 時計表示が 1 回点滅し、 0 秒になります。	_____



使いかた

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
電源		
モニターの電源が入らない	車のエンジンがかかっていない。 # 車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) リモコンのNAV..TVスイッチの位置が正しくない。 # リモコンで操作するときは、スイッチを「TV」側にしてください。 ヒューズが切れている。 # お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。 各コードが正しく接続されていない。 # 接続をご確認ください。	10 9 " 28
共通		
音声は出るが、映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキのコードの接続がはずれている。 # 接続をご確認ください。 サイドブレーキを引いていない。 # サイドブレーキを引いてください。	28 "
内蔵スピーカーから音が出ない	音量が下がっている。 # 音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。 # 「OFF」にしてください。 スピーカー設定が「OFF」になっている。 # 「OFF」以外に設定してください。	12 12 20
モニターの上下角度や前後位置が調整できない	障害物などにあたっている。 # コードのはさみ込みに注意し、障害物などにあたらない位置でご使用ください。	10
モニターが収納できない	モニターの左右の角度が中央に戻っていない。 # 左右の角度を手で中央に戻してください。	11
FMトランスミッターの音が出ない	FMトランスミッター設定が「OFF」になっている。 # 周波数を設定してください。 選局がずれている、またはカーオーディオの音量が下がっている。 # 調整してください。 電源コード(テレビ用)のFMトランスミッター用アンテナが伸びていない。 # 音がよく聞こえるようにアンテナを伸ばし、引き直し直してください。	20 12、20 28
雑音が出る 映像の映りが悪くなる	携帯電話が本機の近くにある。 # 携帯電話を本機から離してください。	"

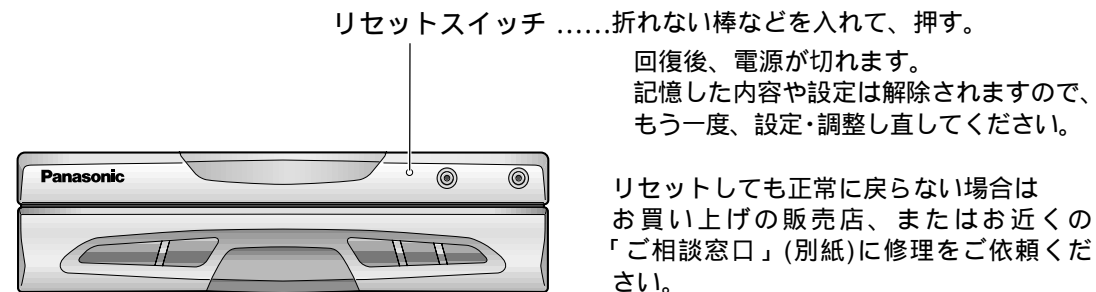
症状	原因と処置	ページ
ディスプレイ		
画面の明るさが一定でない	ディマー設定が「自動」になっている。 # 故障ではありません。設定を「1~4」にすると、周囲の明るさに影響されなくなります。	18
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が薄い	画質調整が適切でない。 # 各項目を調整してください。	18
赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象。 # 故障ではありません。	"
テレビ		
映像が出ない	TVモードになっていない。 # モードを切り替えてください。	12
雑音のみで映像が不鮮明	チャンネルが合っていない、または電波が弱い。 # 受信できるチャンネルに変えてください。 テレビアンテナがはずれている。 # 接続や取り付けをご確認ください。	12、13 30、36
車載用ビデオ・ビデオカメラ・車載用カメラ		
車載用ビデオやビデオカメラの映像が出ない	車載用ビデオやビデオカメラが正しく接続されていない。 モードの切り替えが正しくされていない。 # 接続をご確認ください。 接続に合わせてモードを切り替えてください。	32 15
車載用カメラの映像が出ない	車載用カメラが正しく接続されていない。 # 接続をご確認ください。 カメラ入力が正しく設定されていない。 # 設定をご確認ください。	33 20
リモコン		
ボタンを押しても動作しない	電池の極性(+)(-)が、逆になっている。 # 電池を正しく入れてください。(☞ナビゲーション操作編) 電池が消耗している。 # 電池を交換してください。(☞ナビゲーション操作編) リモコンの方向が正しくない。 # モニターのREMOTE(リモコン受光部)に向けて操作してください。	" " 8
テレビを操作できない	NAV..TVスイッチの位置が正しくない。 # 「TV」側にしてください。	9

故障かな!?

こんなときは、故障ではありません。

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる 雑音が出る	ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を飛行機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする 雑音が出る	山や木立のかけになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る 色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。

どのボタンを押しても動作しない場合には



万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと・熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店
またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、避けてください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、その注意事項をよくお読みください。



使用しない

画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布(付属のクリーニングクロスなど)で、から拭きしてください。

画面をツメで引っかかないでください。キズが付くと映像が見づらくなります。

配線・取り付けの前に

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火・感電・故障の原因になります。

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

部品を確認する

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

番号	品名	個数
38	インダッシュテレビ	1
39	電源コード(テレビ用)	1
40	リパース延長コード(紫/白 6 m)	1
41	RGB コード(6 m)	1
42	圧着式コネクター	1

テレビアンテナ取り付け関係

番号	品名	個数
47	アンテナ本体左右(コード 6 m)	1 組
48	アンテナベース(アンテナ本体に装着)	2
49	クリーナーセット [クリーナー液・ウエス(布)]	一式
50	コードカバー	4
51	コードクランパー	6

テレビ取り付け関係

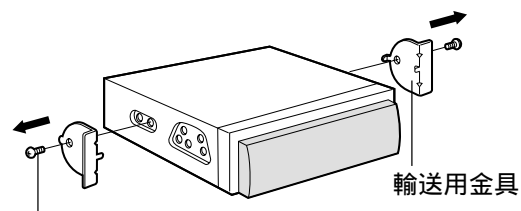
番号	品名	個数
43	座付きねじ(5 x 6 mm)	2
44	皿ねじ(5 x 6 mm)	4
45	スペーサー	2
46	両面テープ(スペーサー用)	2

① ~ ③⑦ はカーナビゲーションの部品です。取付説明書(本体)をご参照ください。

お願い

本機の取り付けねじの長さは 6 mm です。必ず付属ねじ④③または④④をご使用ください。

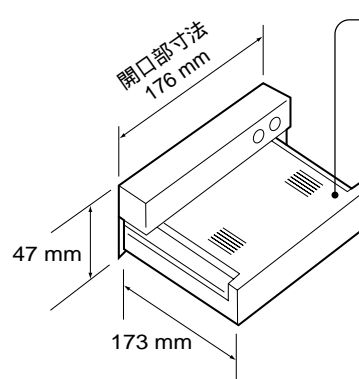
輸送用金具をはずす



取りはずした座付きねじ(5 x 6 mm)
2本は取り付けに使用します。

本機のRGB入力は、ワイドVGA映像専用です。
必ず、同梱のワイドVGA対応ナビゲーションシステムと接続してご使用ください。

インダッシュテレビ(⇒34ページ)

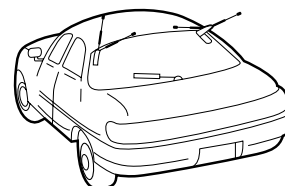


モニターは、約 173 mm 前方に出てから立ち上がります。ダッシュの形状や取り付け部の寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

お知らせ

純正カーステレオが DIN サイズ(横 180 mm、縦 50 mm)でない場合には、販売店にご相談ください。

テレビアンテナ(⇒36ページ)



リアウィンドウ(上方のコーナー部分)へ取り付けてください。
車幅の外側に、はみ出さない
ワイパーにあたらない

お願い

1BOXカー、2BOXカーに取り付ける場合にはバックドアの開閉でアンテナのエレメントが目にあたり、コードが断線しないようご注意ください。

接着力を強めるために...

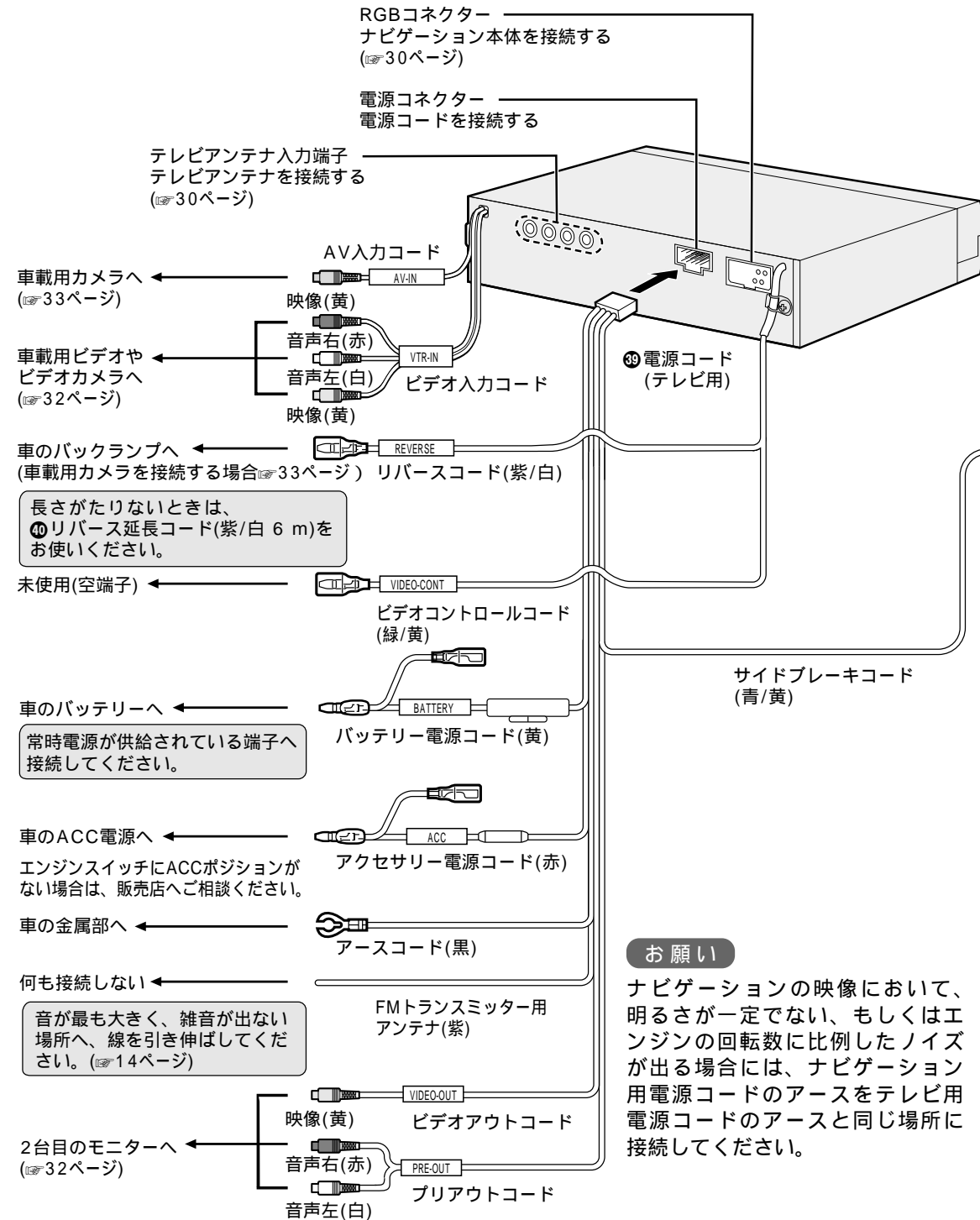
雨天時に野外で作業しない
ドライヤーなどで水分を取り除いてください。
ガラスの表面を暖める
外気温が 20°C 以下のときは、5 分ほどリアウィンドウデフォグガーや車内ヒーターをご使用ください。
貼り付けしたあと、24 時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしない。
(通常の走行は差し支えありません。)

お知らせ

フッ素樹脂処理された(水滴や泥水等をはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

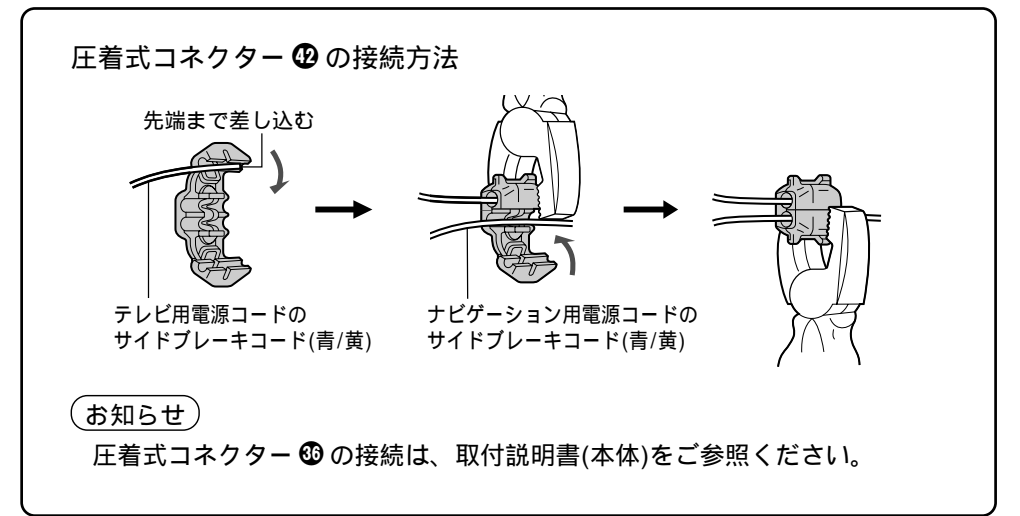
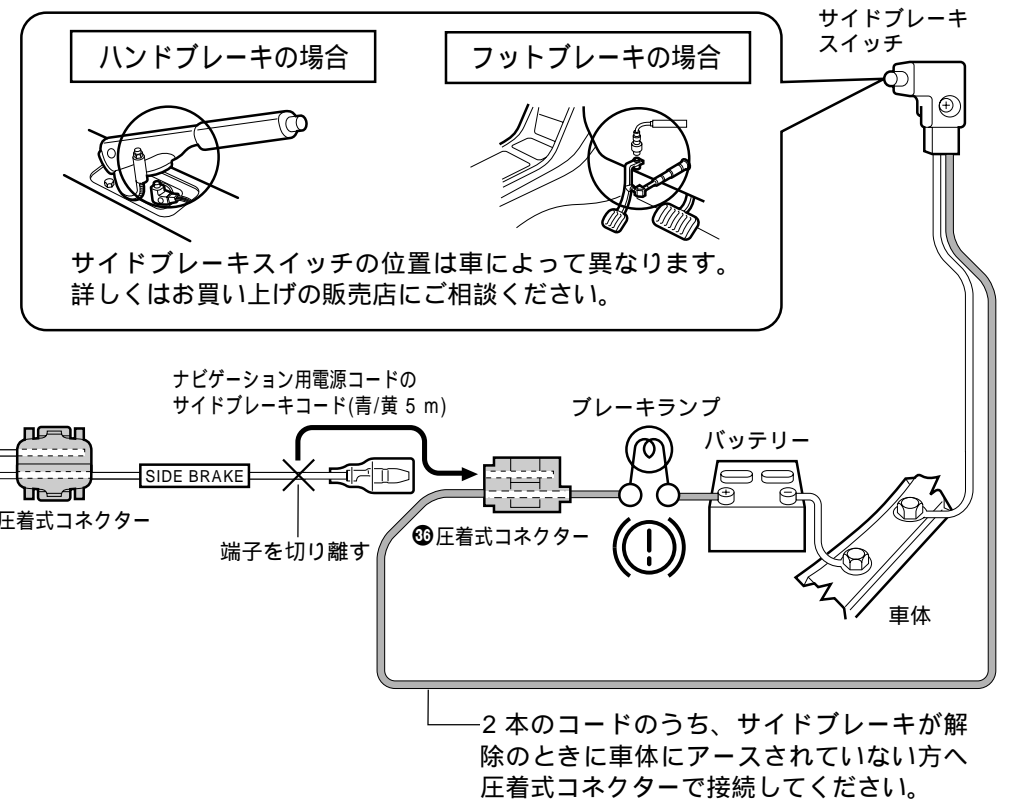
配線のしかた

基本配線(電源コードを接続する)



お願い
ナビゲーションの映像において、
明るさが一定でない、もしくはエ
ンジンの回転数に比例したノイズ
が出る場合には、ナビゲーション
用電源コードのアースをテレビ用
電源コードのアースと同じ場所に
接続してください。

サイドブレーキコードの配線 安全と事故防止のため、必ず行ってください。



必要なきに

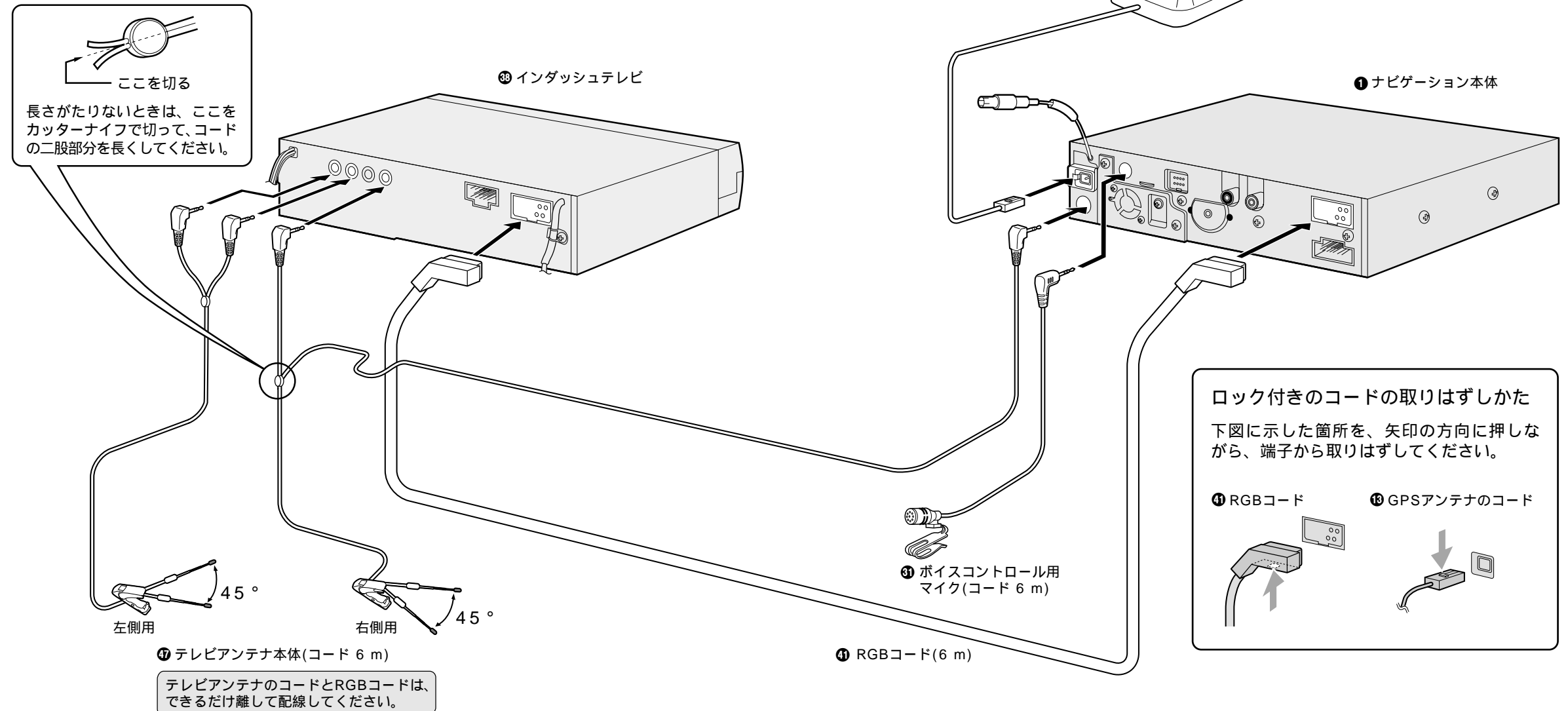
配線のしかた

インダッシュテレビとナビゲーション本体を接続する

ナビゲーション本体の配線・取り付け(付属品 ① ~ ⑭)については、取付説明書(本体)をご参照ください。

お願い

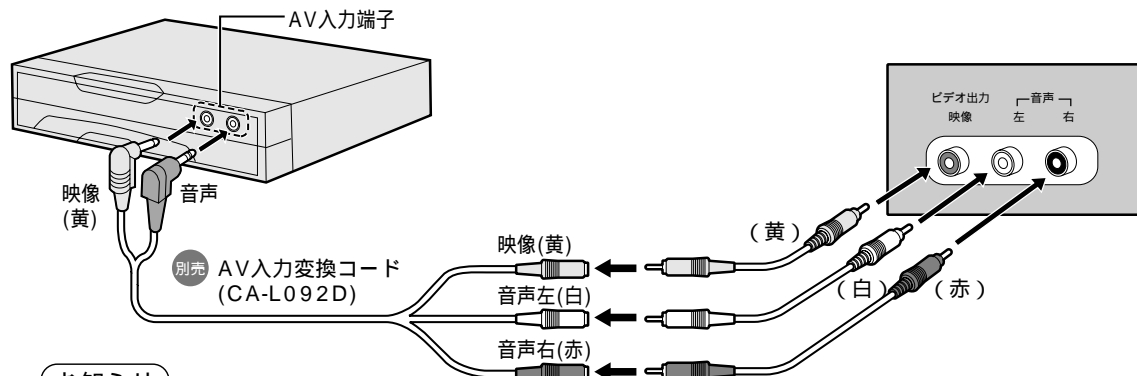
本機のRGB出力は、ワイドVGA映像専用です。必ず、同梱のワイドVGA対応ナビゲーションシステムと接続してご使用ください。
 コネクターは確実に差し込んでください。
 コードは高熱部を避け、クランパーやテープで固定してください。
 ゲーム機器を接続すると、映像が不安定になることがあります。



配線のしかた

車載用ビデオやビデオカメラを接続する

前面に接続する場合

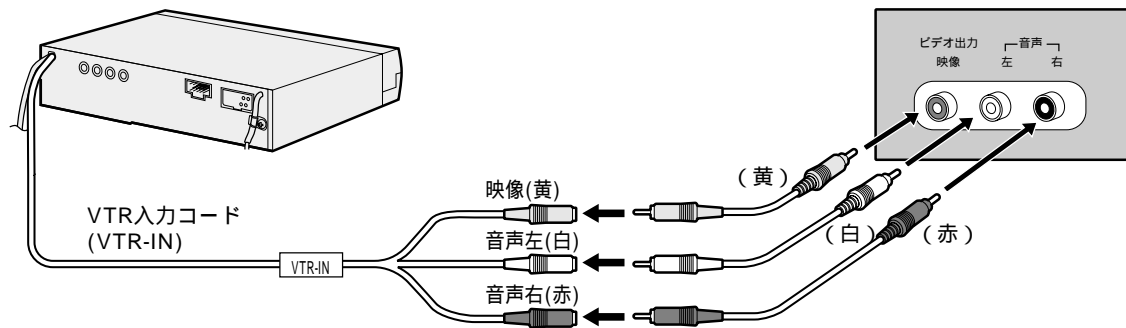


お知らせ

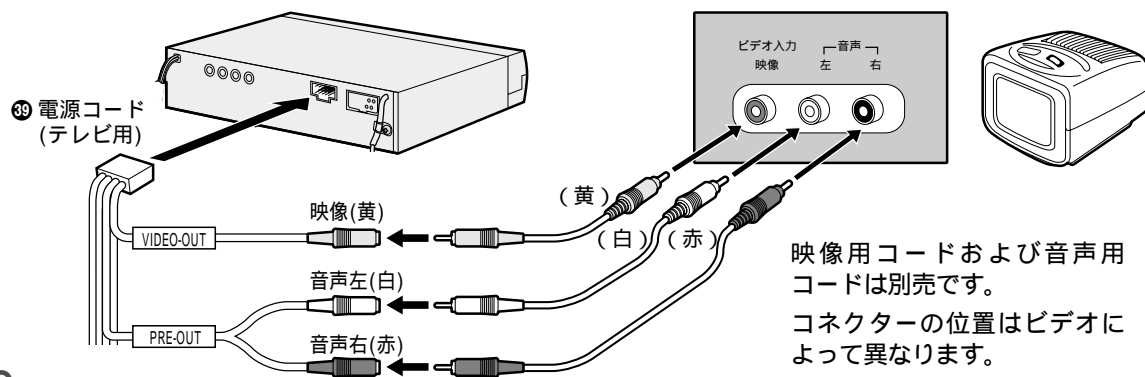
可動部へのコードの挟み込みにご注意ください。モニターの角度や位置調整が一部制限される場合があります。(⇒11ページ)

映像用コードおよび音声用コードは別売です。コネクタの位置はビデオによって異なります。

後面に接続する場合



2台目のモニターを接続する



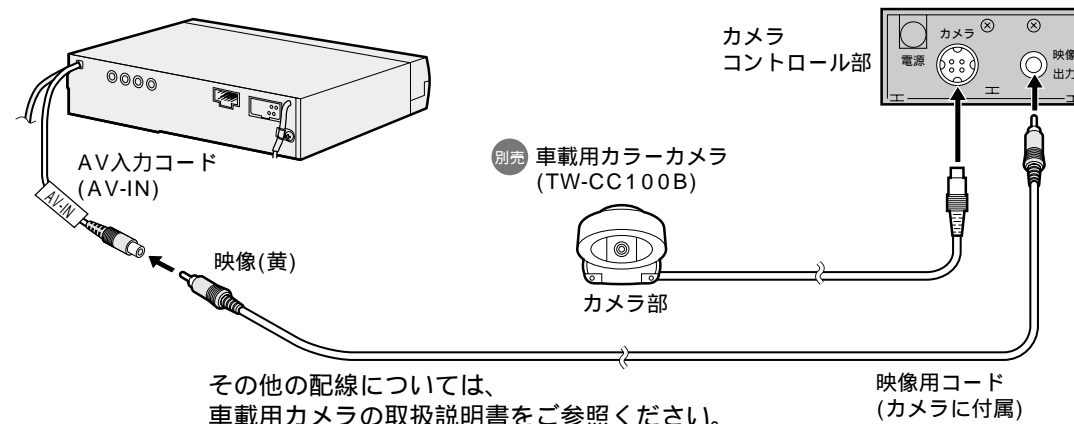
映像用コードおよび音声用コードは別売です。コネクタの位置はビデオによって異なります。

車載用カメラを接続する

例) パナソニック車載用カラーカメラ TW-CC100B

お願い

AV 入力(映像)は、前面と後面の両側にありますが、どちらか一方をご使用ください。両方を同時に使用すると、正常な映像を出力することができません。

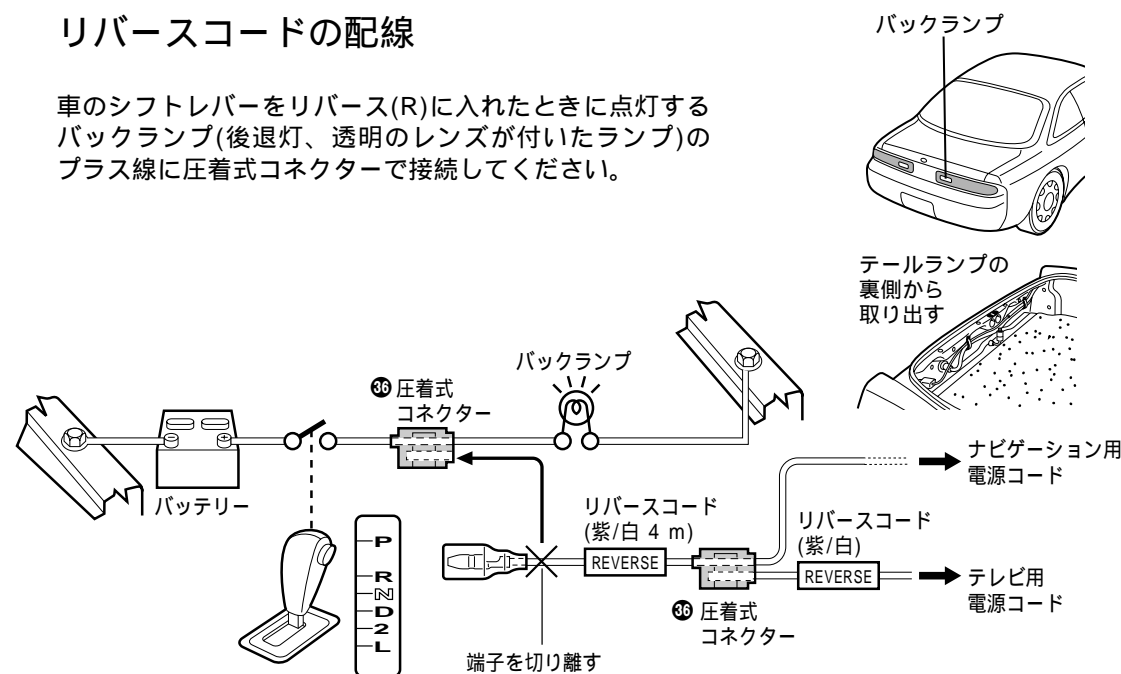


その他の配線については、車載用カメラの取扱説明書をご参照ください。

映像用コード (カメラに付属)

リバースコードの配線

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線に圧着式コネクタで接続してください。

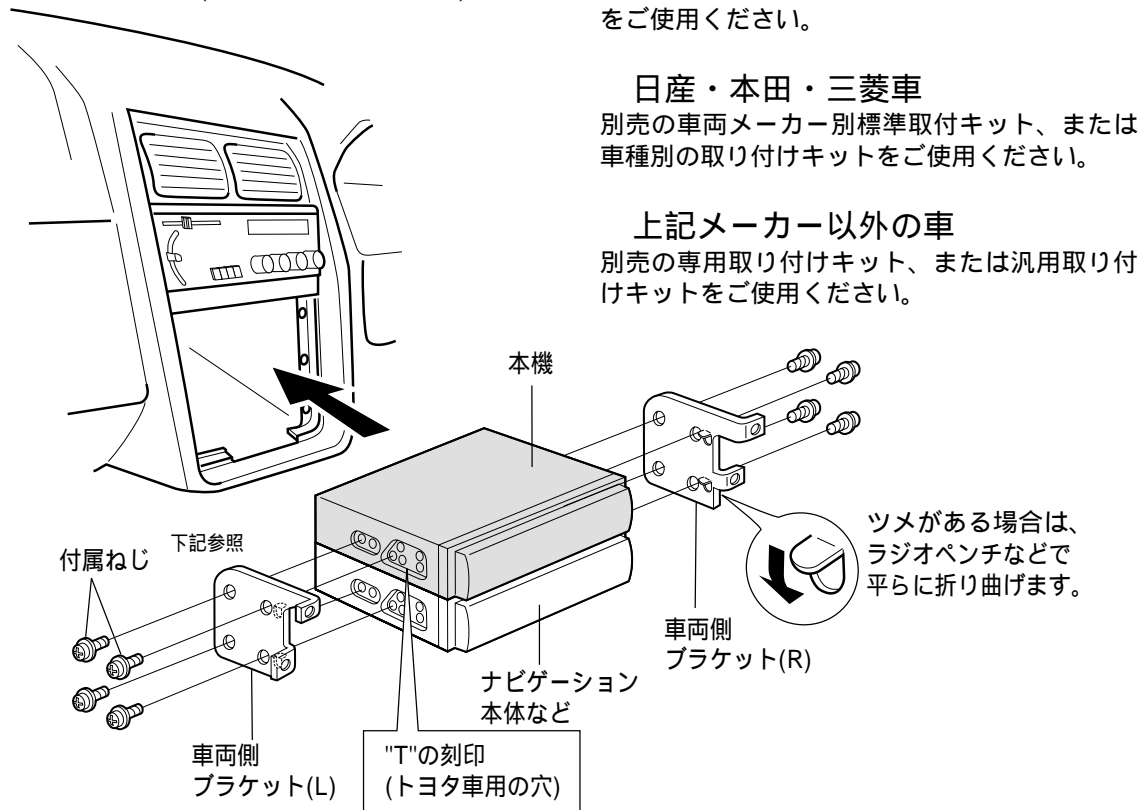


必要に応じて

テレビを取り付ける

使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

取り付け例：トヨタ車 (2DINスペースの場合)

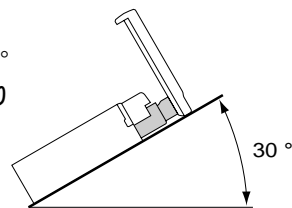


付属ねじ
ブラケットの穴形状に合わせて選んでください。

- ④③ 座付きねじ(2本)
残りの2本は、輸送用金具を固定していたねじをご使用ください。
- ④④ 皿ねじ(4本)

お願い

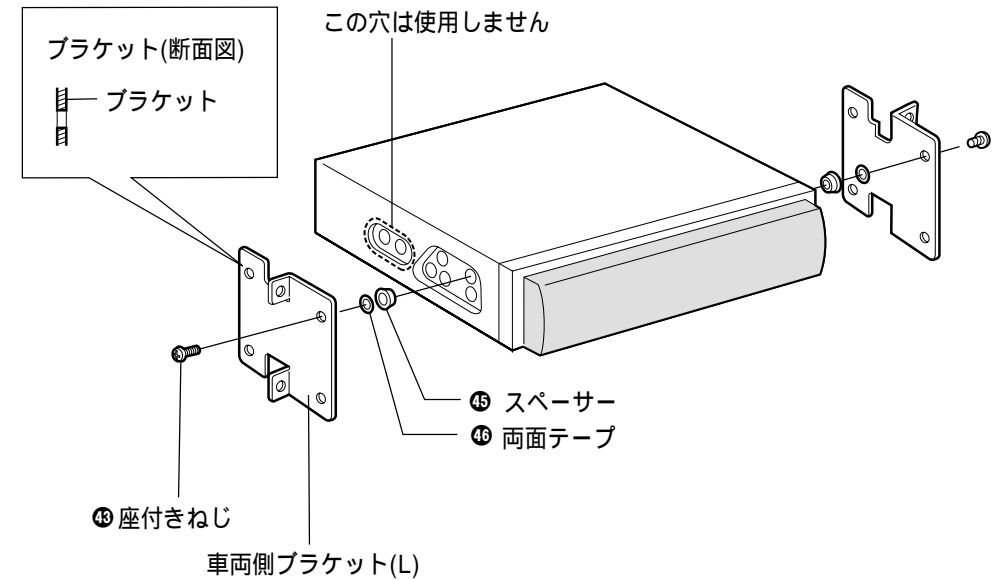
水平に対して30°以内の角度で取り付けてください。



お知らせ

別売のコネクター付コード(車両メーカー別)をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。

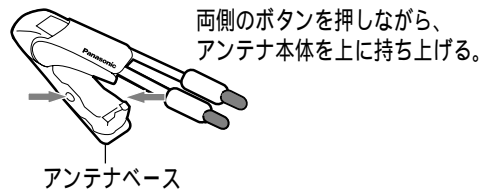
スペーサーの穴形状が下図のような場合にはスペーサーをご使用ください。



必要なときに

テレビアンテナを取り付ける

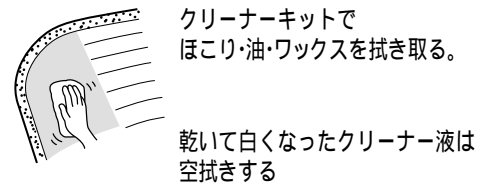
1 アンテナ本体からベースをはずす。



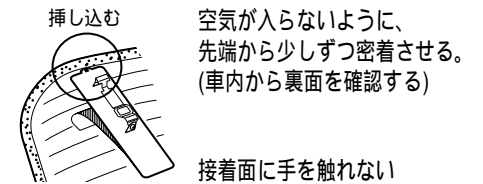
2 ガラス面に合うようにベースを整形する。



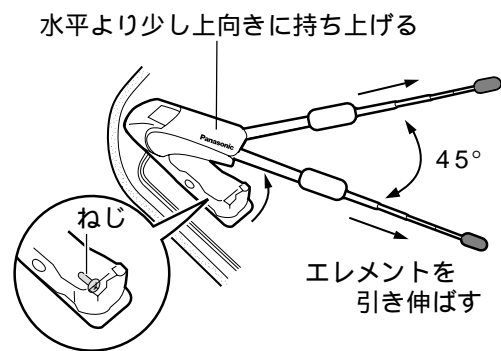
3 貼り付ける部分を拭き、



4 裏紙をはがしてベースを貼り付ける。



調整のしかた



エレメントが車幅からはみ出す場合は...

- ① ドライバーでねじをゆるめて、
- ② アンテナ本体の傾きを調整し、
- ③ ねじを締めなおす。

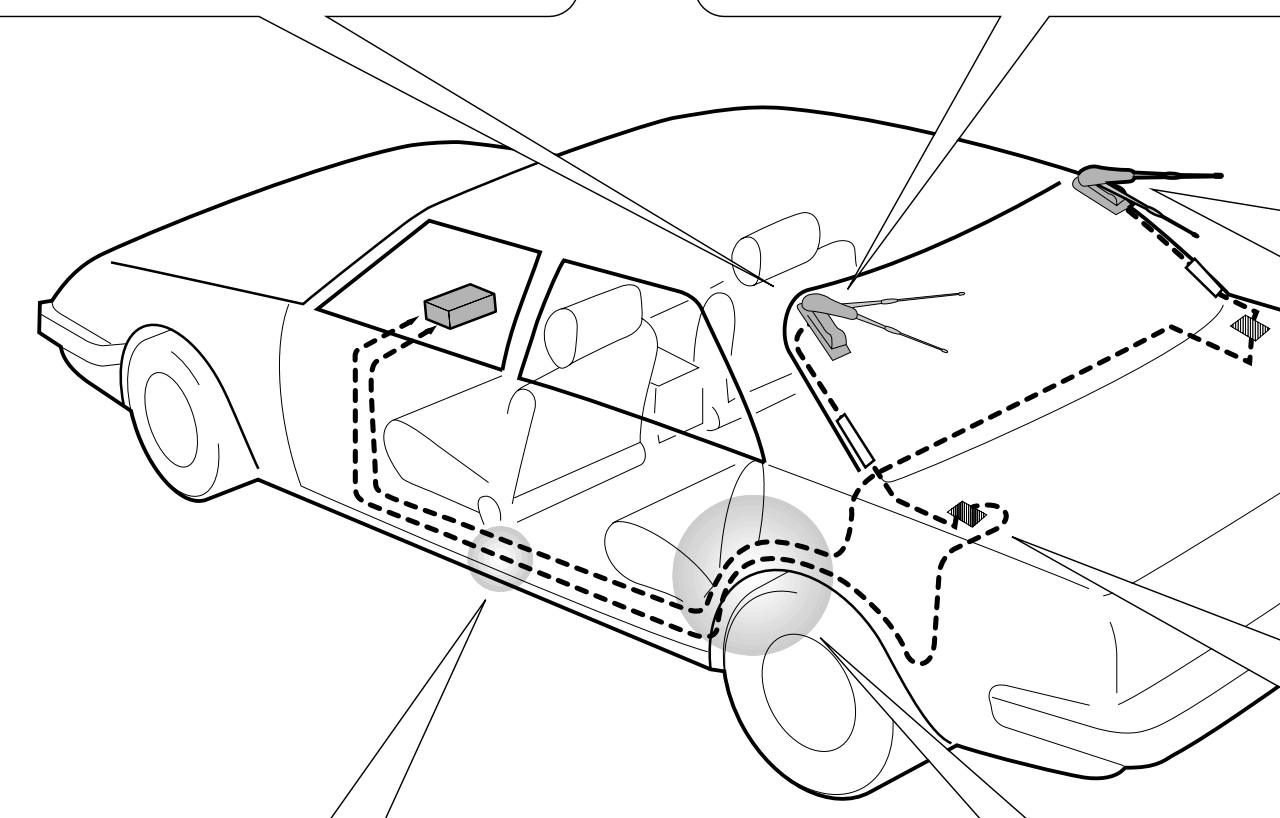
エレメントがスムーズに伸縮しないときは...
付属のクリーナー液、またはねり状ワックスで磨いてください。

お願い

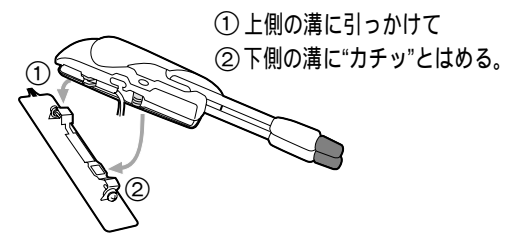
時々ねじのゆるみを点検し、締めなおしてください。

洗車や長時間駐車するときは...

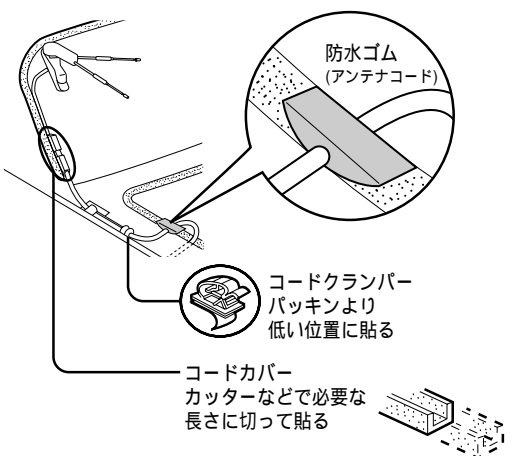
アンテナ本体をはずし、トランクへ収納してください。



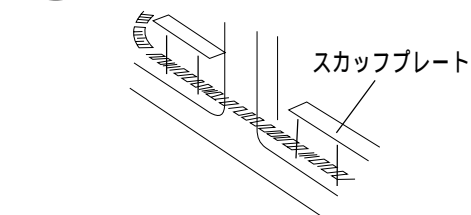
5 コードを外側に出してアンテナ本体を取り付ける。



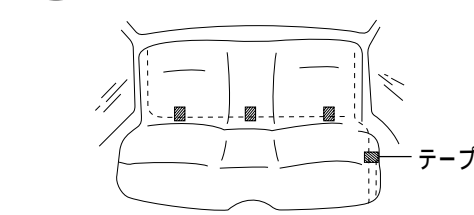
6 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。



8 車のスカッププレートをはずしてカーペットの下を通す。



7 リアシートにテープで固定する。



必要なときに

仕様

アフターサービスについて

共通

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 2.0 A テレビ単体 (TV 動作定格出力時)
音声入力感度	: 0.5 Vrms (VTR)
プリアウト出力電圧	: 0.5 Vrms
スピーカー	: 3.6 cm 丸型 1 個
スピーカー出力	: 0.7 W
映像入力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75)
映像出力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75)
外形寸法	: 幅 178 x 高さ 50 x 奥行き 160 (mm)
質量	: 2.1 kg

モニター部

画面寸法	: 7 型ワイド 幅 152.4 x 高さ 91.44、対角 178 (mm)
画素数	: 1 152 000 画素 (縦 480 x 横 800 x 3)
有効画素率	: 99.99 %以上
表示方式	: 透過型カラーフィルター方式
駆動方式	: a-SiTFT アクティブマトリクス方式
使用光源	: L の字型冷陰極管 (エッジライト方式)

テレビ部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch (TV ステレオ、音声多重)
実用感度	: 34 dB/μV

FM トランスミッター部

FM トランスミッター出力周波数: 76.0 MHz ~ 78.4 MHz

テレビアンテナ

出力インピーダンス	: 75 Ω x 4 (ミニプラグ付)
コードの長さ	: 6 m
外形寸法	: 幅 30 x 高さ 28 x 奥行き 190 (mm) (エレメント収納時)
質量	: 250 g (アンテナ本体片側、コードを含む)

NAVI は、登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間: お買い上げ日から 1 年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙)へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」(別紙)へ
その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室

0120-50-8729

フリーダイヤル (料金無料)
受付 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝祭日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CN-DV3300GSD
販売店名	i () -		
お客様 ご相談窓口	i () -		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283550 F0400-0